

2016年度

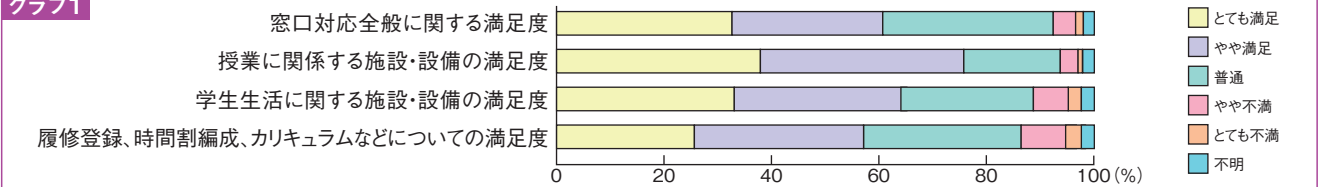
「学生による教育環境改善のためのアンケート」実施報告

実施日程・調査方法 2016年度「学生による教育環境改善のためのアンケート」は、秋学期授業最終日(2016年12月24日、2017年1月13日～19日)に実施しました。このアンケートは「学生による授業評価アンケート」とともに指定クラスを履修する学生には教員から直接配付し、指定クラスを履修していない学生や欠席者などに対しては自宅宛に送付しました。回収については、従来通り指定クラスの学生代表者がアンケートを収集し、一括して窓口へ提出する方法がとられ、それ以外は学内投函箱へ提出、または郵送により提出する方法をとりました。大学院生についても同様に配付・回収を行いました。2016年度から、聴講生、特別聴講生、科目履修生についても同様に実施しました。

このアンケートは学生、大学院生、聴講生などのみなさんから、意見を広く集めることを目的としており、4つの設問に対し、満足度を5段階①とても満足②やや満足③普通④やや不満⑤とても不満であらわし、設問ごとに自由記述欄を併設し実施しました。

集計について アンケートの回収は、学部生、大学院生、聴講生などのみなさんを合わせて8,323名の対象者の内、3,229件のデータを回収することができました(回収率:約38.8%)。そのうち学部生、大学院生については、それぞれ所属別・学年別に満足度の集計を行いました。満足度の結果は **グラフ1** の通りですが、詳細については「**獨協大学の自己点検・評価活動**」のページをご覧ください。自由記述については、個人を特定できないように資料を作成し、その内容については「授業評価アンケート」同様、個別の公表は行いませんが「フィードバックコメント」として大学からの回答をホームページに掲載します。

グラフ1



今後について 今後は「事務局自己点検・評価委員会」を中心に、アンケート結果に基づく問題点を抽出し、その検討、及び改善に取り組むことを予定しています。なお、活動状況・改善報告等については、アンケート結果に対してのフィードバックコメントとして回答するとともに、適宜、大学ニュースやホームページにて報告します。

概要

1. 2016年度の教育環境改善報告

2014年10月に創立50周年を迎え、次の50年(NEXT50)に向けて、「少人数教育と国際化・グローバル化教育の推進」、「創立50周年記念館(西棟)の建設とキャンパス再編(第4次計画)」、「現行諸制度と組織の検証とさらなる改革強化策の構築」に着手しています。

創立50周年記念事業の一つである『獨協大学五十年史』が完成し、今後は歴史的側面からも「自己点検・評価」を行うことが可能になりました。また2017年度より駅名が「獨協大学前(草加松原)」に改称されたこと、及び正門前におけるUR都市機構の用地を取得したことから、地域社会への貢献を考えていく必要があります。

事務局では、こうした重要課題に取り組みつつ、窓口対応、教育研究施設、学生生活施設の改善をはじめとする諸施策を進めてきました。教育環境改善への成果は着実にあげています。社会や学生のみなさんのニーズの変化に伴い、新たな課題も出てきております。

■窓口対応

- 各課で学生のみなさんからの指摘や意見について話し合い、速やかな改善に取り組みました。
- 各課では、「挨拶」「丁寧」「正確」のスローガンと教育的配慮に基づいて、学生との距離を近づける雰囲気づくり、積極的な情報発信などに取り組みました。

■教育研究施設

- キャンパス再編計画のもと、「創立50周年記念館(西棟)」を竣工しました。
- 少人数クラスでのアクティブ・ラーニング型学修を支えるラーニング・コモンズの考えに基づき、より高い学修効果をもたらす最新の施設を備えた学修環境を提供できるようになりました。

■学生生活施設

- 特に意見の多い学生食堂の改善については、昨年度に引き続き「学生の食環境に関する改善作業部会」のなかで検討してきました。
- 事業所選定を含んだ包括的な改革を実施する予定でしたが、複数事業所との事前ヒアリングにおいて、諸条件の事情から参入の意思を表す事業所が無かったことから実施に至りませんでした。
- 2016年度は、価格値上げをともなうメニューの改善の実施にとどまりました。なお、閑散期における教職員食堂、スタイルカフェ等は営業休止となりました。

2. 2016年実施のアンケートに対するフィードバックコメント

■窓口対応について

- 「親切だった」「対応が良かった」などの意見をいただいた一方、「愛想が悪い」や「高圧的だった」など職員の表情や態度についての意見も多くありました。この点については今後、「事務局自己点検・評価委員会」を通じて、意識のさらなる統一を図りたいと考えています。

■教育研究施設・学生生活施設について

- 各施設については、「きれい」「生活しやすい」といったコメントが多くありました。こうした意見をいただけるように、今後も維持していきたいと思っております。
- プレゼンテーションやリハーサル室がほしい、学修スペースを増設してほしいとの要望がありますが、創立50周年記念館(西棟)ではこのような要望に応えられるように、プレゼンやリハーサルを学生独自で行えるラーニング・コモンズ設備であるラーニング・スクエアを新設しました。また、各所には自主学習が可能なスペースが配置されています。ぜひとも、ご利用ください。

また、他の棟の自主学習スペースの設備強化も現在計画をしています。多少、時間を要しますが、ご期待いただければと思います。

- 現在、大学全体としては、省エネルギー推進に関する専門部会によるエネルギー使用量やそれに伴うCO₂排出量の削減を行っているため、エアコンの設定温度を調整していることから、人によっては暑い、寒いと感じることがあるかもしれませんがご協力をお願いします。ただし、空調が作動していないということがあれば、機械の故障も考えられますので、ご連絡いただけたらと思います。
- アリーナ、人工芝グラウンドについては、例年同様に利用したいというコメントが多く寄せられました。学内のスポーツ施設については、その一部を団体に所属しない学生のみなさんと教職員を対象に健康の維持、増進のために貸し出しています。そのうちアリーナと人工芝グラウンドについては、授業と学友会活動での利用が優先されることから、授業と学友会活動に影響の出ない範囲のご限られた時間になりますが、スロベク準備室で貸出手続きを受け付けております。また「個人手続きがわかりづらい」とのご意見をいただきましたが、学生のみなさんが利用できるような様々なルールを設定しています。そのため、現在の制度で引き続き貸出しますので、ご協力をお願いします。
- 夏場の人工芝グラウンド使用時に散水して欲しいとの希望がありました。熱中症の重大な原因として「湿度の上昇」が挙げられており、大変危険な行為となることから、散水をしていないことをご理解ください。
- 学生センターについて、要望があった給水器については、衛生面での問題が指摘されているため、導入が難しい状況です。また印刷機については、限られた時間ではありますが、学友会本部にて有料コピー機・印刷機による印刷、製版サービスを取り扱っておりますので、こちらをご利用ください。
- 学生センターの一部施設(1階フリースペース、雄飛ホール、学生ラウンジ、2階トレーニングルーム)は、一般学生も利用可能です。フリースペースの貸出とトレーニングルーム講習会の予約については、学生課にてご案内しています。
- トレーニングルームの講習会開催については、講師との日程調整のため、実施日が確定次第の案内となっております。そのため、各自でのホームページ等での確認をお願いします。
- 学生食堂、及び飲食店舗については、例年通り非常に多くのコメントが寄せられています。引き続き「学生の食環境に関する改善作業部会」で検討していきたいと思っております。

■その他

- ジェンダーへの配慮を求めるコメントが近年散見されるようになりました。窓口については、学生のみなさんの性の多様性を尊重するよう心掛けていきたいと思っております。
- 各棟間に屋根付通路がほしいとのご指摘がありました。創立50周年記念館(西棟)の完成に伴い、西棟と6棟間の屋根付通路は完成しました。また今後実施する5棟跡地の庭園(ランドスケープ)工事では、中央棟と創立50周年記念館(西棟)、4棟とが屋根付通路で接続されます。既存の屋根付通路で中央棟と東棟、天野貞祐記念館、学生センターがつながっていますので、キャンパス内のほぼ全部の建物がつながることとなります。
- 喫煙所については、当面、「完全分煙」という方針を掲げながら、できるだけ喫煙習慣を身に付けないようにする取り組みを継続して推進し、喫煙者数の減少に向けて活動していきます。2017年度も引き続き、草加市シルバー人材センターの方による分煙パトロールを実施し、キャンパス内の巡回をしていきます。喫煙ボックス外での喫煙についても見かけた場合は声をかけて促します。あわせて、ガイダンスやポスター掲示などを通して、受動喫煙防止や健康増進のための啓発活動を実施していきます。

この記事に関する詳細は「**獨協大学の自己点検・評価活動**」のページをご覧ください。 http://www.dokkyo.ac.jp/jikotenken/a04_01_j.html

※大学ニュース4月号にてお知らせしました「学生による授業評価アンケート」結果(数値データのみ)と結果に対するフィードバックコメントは、現在、教務課、図書館、学友会にて閲覧することができます。閲覧の際は、お近くの職員までお知らせください。